

野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館 指定管理者候補者選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 平成31年2月5日（火）午後1時30分から午後2時15分まで
開催場所 野田市役所5階 512会議室
出席委員 総務部長（副委員長）、企画財政部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員 副市長（委員長）、生涯学習部長
事務局 社会教育課、行政管理課

1 開会

<副委員長から開会の言葉>

2 議事

平成30年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成31年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から平成30年度（4月～12月）野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成31年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書38ページの委託文化事業で、12月末時点で4,369,261円のマイナスとなっているが、その後行われた「よしもと新春大笑いまつり」と「管楽器デュオコンサート」の収支状況について教えてほしい。
- 共催事業「よしもと新春大笑いまつり」は、文化会館の入場券販売分3,500円の入場券469枚の売上げ1,641,500円の10パーセントの164,150円が収益となっている。「管楽器デュオコンサート」は、入場券販売枚数197枚で、283,600円の収入に対し、支出が393,000円となっていることから、109,400円のマイナス収支となっている。
- 「よしもと新春大笑いまつり」は経費と売上げではなくて、ただ単なる販売手数料が収入とされているということなのか。
- そのとおりである。
- 業務報告書38ページの委託文化事業で、「天童よしみコンサート」の収支がマイナスとなっている理由として、開催日直前に近隣での開催があった影響が考えられるとのことである。このような開催の仕方は通常では想定されないことらしいが、契約にうたわれていないのか。

→ 一般的に暗黙のうちに了解されている事項であり、特に契約にうたうようなことではない。

○ 業務報告書54ページ及び55ページの収支状況で、文化会館の収入見込額が予算額に対して16,521,440円下回っており、全体の収支についても9,252,010円のマイナスということだが、収入がこれだけ下回った理由を教えてください。また、委託文化事業については収支に対するリスクを伴うことでもあり、互いのリスク分担の中で、将来的に委託文化事業がうまくいかなかった場合の赤字分を調整するために、指定管理料を見直すようなことにはならないものと考えているが、このような理解で良いのか。

→ 文化会館については、委託文化事業で予定していた事業のうち、約700万円の委託料を見込んでいた朗読劇が開催不能となり、委託料とこれに対する収入をセットで見込んでいたが減額となった。また、全体の収支の赤字については、委託文化事業が原因であるか否かを問わず、指定管理者の責任において処理すべきもので、指定管理料の見直しということは全くないものとする。

○ どの事業も当初見込んだ分の入場者があれば赤字収支が解消されそうなので、主たる原因は委託文化事業で人が集まらなかったということか。

→ 委託文化事業収入の減もあるが、利用料金の減もある。

○ 業務報告書29ページ及び32ページの法定点検の実施状況のところ、空調の法定点検は実施しているのか。

→ 文化会館及び櫺のホールの主たる空調設備は吸収式冷温水発生機を用いており、フロンを使用していないため、フロン排出抑制法の定期点検の対象外である。

○ 業務計画書8ページの広報活動強化による利用促進策について、セブンイレブンジャパンとの連携の内容を具体的に教えてください。

→ 文化会館が主催する事業の入場券販売については、チケットサービスの「カンフェティ」と「チケットぴあ」を利用しており、いずれもチケット発券窓口がセブンイレブンの店舗となっている。このため市内のセブンイレブンの店舗に事業ポスターの掲示やチラシを置いてもらうなどの協力を頂いている。また、文化会館公演日の近隣店舗の人員配置や商品準備の参考となる情報の一つとなるよう、セブンイレブンの野田地区担当者に行事予定表を提供している。

○ 計画書に出ている市内一部店舗の人員配置やお弁当増の協力体制とはどのようなことか。

→ 地区担当者は、人が多く集まる情報を近隣の店舗に提供し、各店舗ではその情報を人員配置や商品の準備などに役立てているものと考えている。

○ 業務計画書3ページの数値目標について、野田公民館及び小ホールにおいては、

利用件数は75パーセントに達しているが利用料金は達していない状況となっている要因を教えてください。

→ 野田公民館では、主催事業を数多く実施しており、主催事業については利用料金が免除となるため、必ずしも利用件数と利用料金が比例してくるものではない。小ホールについても同様である。

○ 業務計画書40ページの文化会館の利用計画で、3月の利用日数が0日となっているのは、32年に行われる空調改修工事によるものか。

→ そのとおりである。

○ 業務報告書58ページの文化会館の収入実績で3月の見込額が0円となっている理由を教えてください。

→ 文化会館は1年前から利用申請を受け付けているが、32年3月は空調改修工事のため休館であり利用申請がないことから、収入見込額が0円となっている。

○ 業務報告書37ページの事故、要望及び苦情対応状況に、開館準備作業が遅延し利用者に迷惑をかけたとあるが、実際に開館時間が遅延したということなのか。

→ 開館時間である9時の5分前には開けることができた。

○ 実際に利用者の方への影響は出ていなかったのか。

→ 早く来ていて、開かないので帰ったという利用者がいたのか確認はできていない。実際には、リフレッシュルームで開始が若干遅れたということがある。

遅延の原因は、施設管理担当者が勤務シフトを勘違いし出勤しなかったため、施設を開けられなかったものである。午前7時頃には清掃担当者が来てはいたが、施設管理担当者の連絡先が知らされていなかったため、連絡が取れなかった。

市側として、この事態があった直後に開催された施設関係者の打合せ会で、関係事業者間の連絡体制の強化を申し入れた。

○ 30年度の収支が900万円のマイナスを見込んでいるが、31年度はこれを解消するような大きな取組などはないのか。また、31年度もまたマイナスとなる可能性はあるのか。

→ 31年度は特に大きな取組の予定はない。30年度のマイナスの要因の一つは委託文化事業の損失にあるが、これは偶発的なことであるので、31年度に影響するとは考えていない。また、原因についてははっきりしないが、施設の利用件数が減少しているので、まずはこれを回復させることが必要であると考え。

○ 31年度は10連休という話が出ているが、そこに予約が入っているか分からないが、もしも予約が入っていないのであれば、そこを大いに活用したら良いのではないかと考える。

→ 今からでは準備期間が短いため難しい。

<審議の結果>

平成30年度(4月～12月)野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務報告書及び平成31年度野田市文化会館、野田市野田公民館及び野田市中央コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会